

みやもとだより

第1号 平成26年1月発行

季節のおまつり

川名のひよんどり

ひよんどりという聞きなれない祭が、静岡県浜松市の北西、車で約一時間余り奥に入った引佐町の山里にある。毎年正月の三日（寺野）と四日（川名）にそれぞれ行われている。山深い岐阜や愛知、静岡の山間部には土着の小さな祭が数多く残っており、農村の人々の深い祈りに支えられ守り



続けてこられた。最近でこそ、情報化時代となり外部から祭好きな人たちが見物に来るようになつたが、元来は、農耕を営む村人たちが一年に一度集まって豊作を祈る予祝行事で、決して外部の人に見せるものではなかつた。秘することによって、その願いや結束を深めるという意味合いもあった。

浜名湖に注ぐ宮田川の流域と天竜川支流の山間部には、古くから「おくない」と呼ばれる正月の豊作行事と「ひよんどり」の祭があり、平成六年、これらが合わせて国の無形民俗文化財に指定された。

写真・文 宮本卯之助

今年思い立つて川名地区のひよんどりを観に行った。約五〇〇年前の応永年間に創建された福満寺は年に一度開扉され、村中の者が本尊薬師如来に供物を捧げ、古来のしきたりによつて祭を営んでいる。

八日堂という小さな御堂の入口に、下の川で禊ぎをした数名の裸の若者が立ちはだかつて松明奉獻者（タイトボシ）の侵入を防ごうとするが、熱さのため侵入を許してしまう。

ひよんどりは「火踊り祭り」がなまつた呼び名とされるが、若者たちが大松明と揉み合っさまは実に豪壮である。

村の世襲の諸役が威儀を正して座り、その左手には太鼓と鉦の囃子方が単調で素朴な囃子を打ち「順の舞」「お姥舞」「はらみの舞」「剣の舞」「片稻叢の舞」と、稲の成長と豊作を祈る祭は川名の夜空に冬の星が輝くころまで続く。



この国の佳き伝統とともに
宮本卯之助

太鼓むかしばなし

東京オリンピック



二〇二〇年東京オリンピックの開催が決まりました。実は、前回の一九六四年東京オリンピック開会式に弊社から大型の火焰太鼓一対を提供しました。聖火台入口の両脇に設置した高さ8mの大変大きなものです。現在でも雅楽公演の際にお貸ししたりなど、年に数回使われています。次回のオリンピックもぜひ日本文化をP.R.したいですね。

浅草徒然につき

針供養会 二月八日

風の音

古典芸能へのとびら

弊社でも毎日使用する「縫い針」。職人一人一人が、太鼓の皮を縫う作業に使う大切な道具です。浅草寺では、針への感謝と裁縫上達を願い、短くなったり、折れたり錆びたりした針を柔らかい豆腐やコンニャクに刺して、供養を行います。以前は家庭での針仕事や、針を扱う仕事の人なども針を休め、針箱を掃除したそうです。弊社でも携わっている職人一同で、今年も針供養を行います。

祭とともに

虎舞の復活

東北地方には古くから伝わる郷土芸能が数多くあります。私どもでも震災以来、その芸能の道具や衣装の復元製作のお手伝いをさせて頂いています。

岩手県釜石市に伝わる「虎舞」。よく耳にする獅子舞とは違い、虎頭が舞うのです。これは「虎は千里往つて千里還る」という故事から漁師が無事に帰ることを念じ、虎の習性に託して踊ったことが由来とされています。

津波で流されてしまつた虎頭、資料もなく頼みの綱は現地の方々の記憶のみ。

お話を伺い、社内にてデッサンし、荒彫

セリフや囃子、擬音、動作、そして衣装など様々な要素で表現する歌舞伎。今回は「音」にクローズアップします。寒い冬の山中で吹きすさぶ風、足音を忍ばせ風の音しか聞こえない緊張感のある情景など、風の効果音を創りだす道具、その名も「風の音」。木と帆布の摩擦で空気を動かし、ハンドルを回すスピードで「そよ風」や「強風」を表現します。「黒御簾」という部屋で操作され、舞台の進行に合わせて各場面を演出します。



南北に伸びた日本の国土には多様な祭りと芸能が伝わってきました。四季の移ろい、美しい自然と郷里の風景、そして地域の人々の繋がり。祭りと伝統芸能には、日本人が大切にしてきた沢山の要素が詰まっています。

宮本卯之助商店

は、連綿と受け継がれてきた祭りと伝統芸能のお手伝いをさせて頂いて参りました。そんな私たちだからこそ伝えられる祭りと伝統芸能にまつわるお話を皆様にお届けできればと、「みやもとだより」を発刊させて頂く運びとなりました。祭りが待ち遠しくなるような、そんな気分をお届けできれば幸いです。



りをし、また現地に赴く。これを繰り返し、一緒に作り上げ、現在9つの団体様にお納めいたしました。神社も被災した地区では、仮設の番屋前でお披露目の舞が行われました。今春も担当者が東北に向かいます。

みやもとだより
創刊によせて

太鼓むかしばなし

発行
株式会社宮本卯之助商店
企画広報室
〒111-1035 東京都台東区西浅草二十一 電話 03-3384-4122-41
www.miyanoto-unosuke.co.jp

宮本卯之助商店
代表取締役社長
宮本芳彦